

今年もあと1ヶ月足らずとなりました。今年世界的な経済不況、新型インフルエンザの蔓延と、明るい話題が少ない年でした。新しい年は明るい出来事が多い年であればと願っています。

第31回岡山フルートの会演奏会（フルートフェスティバル in 岡山）について

演奏会の練習が12月13日（日）から始まります。本格的な練習は1月からになりますが、早めに楽譜が欲しい方は、ぜひ13日の練習にご参加ください。

（長谷川楽器店3階ホールにて / アヴァンテ.....10:00～12:00, ルミエール.....13:00～14:30）

会員の皆さんもきっとそれぞれにお忙しいと思いますが、老若男女同じステージに立ち、みんなで音楽を作りながら楽しむ瞬間を、一人でも多くの方に味わっていただきたいと思っています。楽器の経験、人生の経験・・・様々な人々が集まることで、色々な刺激を受けることと思います。音楽を通して色々な方と触れあう時間は、きっと生活に潤いを与えてくれるはずですよ！！皆さんで、楽しい時間を過ごしましょう

演奏会の参加調査ハガキを同封しております。ご記入の上、お早めにご返信ください。

三尾さんの留学記

みなさん、こんにちは。岡山フルートの会会員の三尾奈緒子と申します。私は高校卒業後の5年間をフランスとオランダの2つの国で留学生活を送り、この10月に帰国いたしました。星島先生からお声を掛けていただき、少しでも新鮮なヨーロッパの香りをお届け出来たらと会報の一部をお借りしてお話させていただきます。

まず自己紹介がてら少し私の事を書かせていただきます。

私がこの2つの国で勉強した事を話すとみなさんに『なぜフランス留学の後にオランダへ？』と聞かれます。確かに音楽の盛んな国から音楽留学ではマイナーなオランダへと思われるかもしれませんが、私にとってオランダでの2年間はフランスの3年間に負けるも劣らない素晴らしいものでした。

まず私がフランスからオランダへ移るきっかけとなったのはロイヤル・コンセルトヘボウオーケストラの首席フルート奏者、エミリー・バイノン女史との出会いでした。18歳でフランスに渡り、パリ・オペラ座のクロード・ルフェブル女史の元で2年間学び、卒業後一年間先生探しの旅をしていました。ベルギー・ドイツと周り最後にオランダへレッスンを受けに行きました。その時にエミリーからレッスンを受けることが出来、彼女の音楽へのアプローチに感動し即オランダへ移ることを決めました。しかしその前の年から彼女は演奏活動が多忙のため音楽院で教えることをやめていたので、彼女からはプライベートレッスン、音楽院ではエミリーに紹介してもらったコンセルトヘボウの首席ピッコロ奏者のヴァンソン・コルトプリント氏に習うことになりました。こうして私の音楽人生において決して忘れることの出来ない二人の素晴らしい音楽家の出会いがきっかけで、オランダでの留学生活を送ることになったというわけです。

そんな私がヨーロッパに住んで一番驚いたのは学費の安さです。

私が通っていたパリ国立地方高等音楽院は国立の学校なので学費は年間たったの3万5千円ほど。一流の先生からの週一時間のレッスンとソルフェージュ、音楽史、室内楽など受けられるのです。私立の学校でも40万円程度の方です。

オランダは、学校によって差もありますが40万円（しかし授業料は年々著しく上昇しています）あらゆる授業を受けることが出来ます。しかも私は院生だったので、芸術に関わる出費ならなんでも（楽譜、コンサート、旅費、レッスン代などなど）年間約7万円まで学校がお金を出してくれるというありがたい制度もありました。

こうやってヨーロッパの音楽学生はお金の面でも守られているわけです。

ヨーロッパの音楽学生はそんなに高価な楽器を持っているわけでもないし、親が決まって裕福だというわけでもないのです。

そしてもうひとつ驚いたのが学生向けのコンサートチケットの安さです。私はオランダにいた2年間、コンセルトヘボウの演奏プログラムが変わるたび（約2週間ごと）に演奏会に出かけました。貧乏学生の私が狙うは、学生席です。

普通に買うと8000円位するチケットも学生は早く予約することで1000円で手に入れることが出来ます。それでも買えない時は開演3時間以上前から待てば、数枚しかないキャンセル席が学生に巡ってくるチャンスがあるかもしれないので、私はそれも活用していました。

パリでも同様にオペラやバレエが1000円で観れたり、コンサートによっては700円で聴けるものもあります。それだけでなく芸術学校の学生というだけであらゆる美術館や施設が割引引きや無料入場の対象になるのです。このように学生が良いものに触れる機会が多いというのはヨーロッパの素晴らしいところだと思います。ヨーロッパで

出会い、触れ合った様々な国の人たちは、型にとらわれず心から楽しんで自分の生き方をするスペシャリストたちだと感じました。

もちろんそんなヨーロッパにも私にとって住みにくいところはたくさんありました。その中でも事務処理の遅さ、適当さです。それはフランス、オランダ両国で言えることでした。日本のように規律正しく、間違いが少なく、迅速な処理などは存在しません。例えば留学したての私が家に電話回線を引こうと電話会社に行き契約をした時のことです。担当者には『明日には電話が繋がります』といわれました。しかし待てど暮らせど電話は使えず、またお店に出向き、課をたらいまわしにさせられ、結局技術者が家に来てくれることになりました。『もう大丈夫だよ、明日には開通します。』結局この言葉を4回聞きくことになり、開通したのは1ヵ月後。。。しかもある日急に電話会社から電話がかかってきて『アロー。今日から使えますので。電話線自体が通ってないのが原因でした。では良い一日を』との事でした。こんな日々が日常茶飯事なおかげか、色んなことに対して柔軟さが身についた気がします。

エピソードは尽きませんが今回はこの辺で筆を置かせていただきます。少しでも私の感じたヨーロッパを文に乗せてお届けできていれば幸いです。

演奏会情報

岡山チェンバープレーヤーズ 第46回クリスマスコンサート

日時：12月13日(日) 14:30 開演 (14:00 開場)

会場：ルネスホール

入場料：1,500円(ソフトドリンク付)

曲目：シューベルト/しばめる花による主題と変奏、ケルビーニ/アヴェ・マリア 他

出演：藤澤桂子さん(FI), 八尋直哉さん(Pf), 岡部しのぶさん(Sop)

岡山交響楽団 第49回定期演奏会

日時：12月20日(日) 14:30 開演 (13:30 開場)

会場：岡山シンフォニーホール

入場料：一般1,500円/学生500円

曲目：メンデルスゾーン/ヴァイオリン協奏曲ホ短調 op.64, ドヴォルザーク/交響曲第6番二長調 op.60 他

Cond: 杉本賢志さん Vn: 岸本萌乃加さん

Fl: 伊豆丸利江子さん, 熊瀬 好さん, 清水昌美さん, 横井由花さん

フルートカルテット CURARA 1st Concert (原田浩征編曲による)

日時：12月29日(日) 14:30 開演 (14:00 開場)

会場：西川アイプラザ多目的ホール

入場料：前売り800円/当日券1,000円

曲目：組曲「仮面舞踏会」、組曲「となりのトトロ」 他

出演：原田浩征さん 他

岡山フルートカルテット演奏会 Vol.2

日時：2010年1月17日(日) 15:30 開演 (15:00 開場)

会場：就実高等学校「なでしこホール」

入場料：1,000円(全席自由)

曲目：ドビュッシー/小組曲(編：原田浩征), 中山育美/四季のほぷり 他

出演：(FI)安達雅彦さん, 伊豆丸利江子さん, 熊瀬 好さん, 野崎めぐみさん, (Pf)有田昌恵さん

音の宝石箱 vol.2 藤澤桂子&八尋直哉ジョイントコンサート

日時：2010年1月24日(日) 15:00 開演 (14:30 開場)

会場：京都市青山音楽記念館(パロックザール)

入場料：一般2,500円/学生2,000円

曲目：ヘッド/鳥の歌, リスト/リゴレットによるパラフレーズ, 福島和夫/冥, モルラッキ/スイスの羊飼い 他

出演：藤澤桂子さん(FI), 八尋直哉さん(Pf), 岡部しのぶさん(Sop)

問い合わせ：藤澤さん 090-8608-2668

演奏会情報は野崎さん(会報係チーフ)に連絡してください。 MegMeg0_Ov@yahoo.co.jp

【会報の封筒詰めのお知らせ】

2010年1月号の会報の封筒詰めを、1月12日(火)午後7時から長谷川楽器店3階ホールで行います。

会員の皆さまには、ぜひ、封筒詰めのお手伝いをお願いします。

